

令和4年度 鴨島かもめこども園 自己点検・自己評価について

令和5年3月

評価の基準 A・・・よく達成できている B・・・達成できているが課題もある C・・・改善が必要

◎ 教育・保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内容	評価	改善を要する意見及び改善策
教育・保育目標について	(1) 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	A	『幼保連携型認定教育・保育要領』に基づき指導計画を作成し、年齢に応じた体験活動や、体育あそび・リズム・スイミングなどの教育カリキュラムを取り入れながら、小学校就学前までの成長を見据え、一貫した保育・教育を行っている。保護者参観の際に学年懇談会、運動会後に行事アンケートを実施し、保護者との相互理解を図る機会とした。個人懇談や園日より等で園の方針や目標の共通理解に努めている。地域行事は中止及び不参加となった。
	(2) 目標は、施設や地域の特色を生かしているか。	B	
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	B	
	(4) 目標は、前年度の反省を生かしているか。	A	
	(5) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	A	
教育・保育内容について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	A	園児の姿に応じて年間指導計画に基づいた園内研修を実施するなどし、職員間の共通理解を図り、教育・保育内容、保護者対応等について、更なる質の向上に努めている。 園児の活動に活用できていない遊具等があり、収納場所や方法などを見直し、今後の園児の活動に活用できるように努めていく。 看護師、栄養士、保育教諭が連携を図り、園児全員の健康管理に努め、アレルギー食除去書類の見直しを行ったりした。低年齢児担当教諭が献立を確認して年齢に応じた食材を見直し、家庭との連携も図りながら、各クラスの気付きの取りまとめから月に1度給食会議を実施するなどし、必要に応じて厨房との連携を図っている。 また、5歳児を対象にアプローチカリキュラムを作成し、近隣小学校と引き継等の機会を積極的にもつよう努め、就学に向けて連携を図っている。
	(2) 認定こども園教育・保育要領に基づく指導援助を適切に行っているか。	A	
	(3) 環境構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。	A	
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。	B	
	(5) 登園・降園時にこやかに対応しているか。	A	
	(6) 連絡帳・連絡ノート、個人懇談の活用が十分できているか。	A	
	(7) 給食、おやつなどのメニューに偏りはないか。	A	
	(8) 食育計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	A	
	(9) 乳幼児の健康管理を適切に行っているか。	A	
	(10) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。	A	
保健・安全指導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。	A	保健・安全についての年間指導計画を作成し、各年齢の保育に活かしている。毎月のほけんたよりや、感染症の発生状況に応じて手紙や文書の配布及び掲示、マチコメールの活用により、家庭への啓発を行っている。また吉野川市と連携し、感染防止対策に努めた。 看護師が常駐し、園児全員の健康管理に努めている。
	(2) 避難訓練・安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	A	
	(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	A	
	(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。	A	
日時程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよいか	A	教育保育週数を十分確保し、各年齢の発達に応じた活動内容と時間配分でを行っている。
	(2) 教育保育週数を確保しているか。	A	
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。	A	年齢ごとの発達段階に合わせて、職員会議などで具体的な内容を話し合いながら進めている。本年度は新型コロナウイルス感染症対策しながら、運動会やクリスマス会は入場者数を制限し、2部構成にするなどして行った。親子遠足や保護者参観なども、感染対策をしながら実施した。4・5歳児の夏の行事は、感染症対策として、内容や時間を制限して実施した。実施後は振り返りを行い、今後活かしていく。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	B	
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。	B	
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	A	
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。	A	

◎教育・保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内容	評価	改善を要する意見及び改善策	
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。	A	職種、経験年数を考慮して職員配置を行い、協力できる体制を実施している。毎日の職員配置を全職員が把握できるように所定の場所に掲示し、必要に応じて臨機応変に対応しながら保育を行っている。職務内容も状況に応じて相談しながら行っている。 必要に応じて職員会議を行い、連絡事項や職員の共通理解を図ろうとするが、産休に入る職員や体調不良で欠勤する職員が複数出るなど、各種会議を十分に行うことができなかった。各係の活動内容についても見直しを行うが、係によっては職員の共通理解や認識が不十分な面もあった。職員間の報連相や連携に努めていきたい。
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。	B	
		(3) 職員の配置は適材・適所か。	A	
		(4) 係りや仕事の分担・割り当ては適切か。	B	
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	B	
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	B	
		(3) 打ち合わせ回数、時間、内容は適切か。	B	
	年齢別・クラス経営	(1) 年齢別・クラス目標は、教育・保育目標や重点目標に基づいて設定しているか	A	
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	A	
		(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	A	
		(4) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。	B	
		(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。	A	
		(6) 評価、資料(諸記録)を集積しているか。	A	
	研究・研修	園内研修・研究	(1) 研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。	
(2) 園内研修の計画・運営は適切か。			B	
(3) 研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。			A	
(4) 研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。			A	
園外研修		(1) 各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	A	
		(2) 各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。	A	
情報について	(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	A		
	(2) 公文書收受、発送、処理を適正に行っているか。	A		
	(3) 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。	A		
施設・設備	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	A		
	(2) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。	A		
	(3) 不審者等に対応する周到的配慮を行っているか。	A		
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切、且つ、効果的に活用しているか。	A		
出納・経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	A	担当職員が適切に処理している。	

◎地域の中の就学前教育施設に関する評価

項目	内容	評価	改善を要する意見及び改善策	
開かれた認定こども園づくり	施設間交流・連携	(1)小学校等との年間交流計画は、教育・保育目標や課題に添ったものになっているか。	A	新型コロナウイルス感染状況に応じて、交流行事を一部行うことができた。園児と児童との交流を図る貴重な機会となり、小学校生活を意識した生活や活動を取り入れていくようにした。研修や引き継ぎ等の機会には、密に連絡を取り合い、就学に向けての話し合いを行った。
		(2)小学校等の幼児児童生徒と触れ合う中で、(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。	A	
		(3)保育教諭同士が、打ち合わせや事前研修・合同研修を行い互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。	B	
		(4)参観や保育・授業等に参加するなどして、小学校等の教育を理解しているか。	A	
		(5)日常的に情報を交換し、それを交流活動にいかしているか。	A	
	家庭・地域との連携	(1)参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。	B	新型コロナウイルス感染対策として、参観については時間や人数を制限して行った。近隣小学校にも参観について通知し足を運んでもらった。例年参加している地域の行事や作品の展示などは、中止または不参加となった。次年度は計画を立てて参加したい。散歩やマラソン大会では、地域の方との関わりを楽しみながら実施した。
		(2)保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。	B	
		(3)乳幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。	A	
		(4)地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。	C	
	子育て支援の推進	(1)地域の子育てセンターとして、園庭やリズム室、子育て支援室等を開放しているか。	A	支援センターでは、月1回のベビーマッサージ、英語、絵本、運動遊びを設定し、園庭の開放も含めて、週3回利用の機会を設け、相談などにも対応している。支援施設利用園児の訪問支援などを通して、専門機関との連携を図り個別の指導計画を作成している。言語訓練などで医療機関を利用している園児についても連携を図っている。
		(2)地域に住む子どもどうし、あるいは親子が一緒に遊ぶことのできるような場の設定を行っているか。	B	
		(3)地域の実態を捉え、計画的な預かり保育を行っているか。	B	
		(3)「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。	B	
		(4)職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。	B	
	(5)医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	A		
	情報の発信	(1)園だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	A	園だよりやケーブルテレビ、地域の情報誌への投稿などで情報を発信している。マチコミメールやドキュメンテーションを活用し、日々の保育の可視化を図っている。
		(2)行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。	B	
	外部評価	(1)第三者評価や学校評議員会等を導入し、園運営に反映しているか。	C	保護者アンケートを実施し、様々な意見や地域からの意見も考慮するなどして、今後の運営に活かしていく。
		(2)地域や保護者の意見を園運営に反映しているか。	B	